FC岐阜
株式会社岐阜フットボールクラブ
取締役会長 宮田 博之

連載Vol. 81

FC岐阜Jリーグ加盟15周年の振り返りとこれからの取り組み

1. FC岐阜発足から Jリーグ加盟まで

2001年故勝野正之監督のもと、岐阜県社会人リーグからスタートし、2006年には東海社会人リーグ1部に昇格。戸塚哲也監督のもとで優勝し、JFL入りを決めた。2007年JFLで3位となり、2008年からJ2リーグ入りが決定した。

2. 今西和男社長(2007/12月～2012/8月)、薫田大二郎社長(2012/9月～2014/4月)時代

年	順位	監督	平均観客数
2008	13位/15チーム	松永英機	3,745人/13位
2009	12位/18チーム	松永英機	4,302人/13位
2010	14位/19チーム	倉田安治	3,108人/19位
2011	20位/20チーム	木村孝洋	4,120人/14位
2012	21位/22チーム	行徳浩二	4,270人/13位
2013	21位/22チーム	行徳浩二・辛島啓珠	4,525人/16位

2013年債務超過問題が起こり、2014年岐阜市出身でJトラスト株式会社社長の藤澤信義様が個人として2億5千万円の増資のお引き受けを頂き、引き続きJリーグでプレー出来ることになった。

3. 恩田聖敬社長(2014/4月～2015/12月)、薫田大二郎会長(2014/4月～2016/4月)、宮田博之社長(2015/12月～2021/12月)時代

年	順位	監督	平均観客数
2014	17位/22チーム	ラモス瑠偉	7,584人/8位
2015	20位/22チーム	ラモス瑠偉	6,179人/11位
2016	20位/22チーム	ラモス瑠偉・吉田恵	5,662人/10位
2017	18位/22チーム	大木武	6,977人/8位
2018	20位/22チーム	大木武	6,858人/9位
2019	22位/22チーム	大木武・北野誠	6,644人/12位
2020	6位/17チーム	ゼムノビッチ・仲田建二	2,644人/1位
2021	6位/15チーム	安間貴義	3,502人/2位

＊参考：2020年／平均観客数J3：1,140人、J2：2,751人
2021年／平均観客数J3：1,913人、J2：3,910人
2020年からJ3リーグおよびコロナ禍での開催

4. 宮田博之会長(2021/12月～)、小松裕志社長(2021/12月～)時代

年	順位	監督	平均観客数
2022	9位/18チーム	三浦俊也・横山雄次	4,140人/3位

＊参考：2022年／9月15日執筆時点、平均観客数J3：2,633人、J2：4,593人

2020年からのコロナ禍でチーム経営が赤字となり2023年には債務超過に陥る恐れがあるが、長期のコロナ禍で数多くの株主企業やトップスポンサー企業からのご支援は賜ることが難しいと判断し、取締役会の決議を経て、藤澤信義様個人から2億円の増資を実行頂きました。

5. これからの取り組み

チーム、クラブ、スポンサーや県・市町村、ファン・サポーター様とより一層緊密に連携して、全体として一体感や盛り上がりの醸成に尽力し、早期の昇格を目指して参ります。

パワフルな経営力と選手が躍動する魅力あるチームを作り、またJリーグで導入されているホームグロウン制度(注：自前で育成された選手をトップチームで登録することに関する制度)にも合致する将来有望な若手選手の育成体制と環境整備の構築など課題の改善にも積極的に取り組んでいきます。今まで以上に日々刺激し合って発展する人や組織にしていくことで、応援してくださる皆様方に更なる夢と感動を提供して参ります。

また、クラブとしては全選手に「ホームタウン応援大使」として、県内全42市町村のPRをおこなう役割を担わせて頂くことで、微力ながらおらが街のPRをさせていただくと同時に、選手達にも自己研鑽の場とさせていただいております。

FC岐阜は現在、県と42市町村および約300社に達する数多くのスポンサー企業様にご支援頂いており、大変有難く年々その輪は広がっております。SDGsの17番目のゴール「パートナーシップで目標を達成しよう」にもある通り、私どものホームゲーム会場を市町村、スポンサー、応援してくださる全ての皆様の宣伝の場としてもご活用いただきたいと考えております。FC岐阜が持つスポーツの力を活用して、今まで以上に皆様のお役に立てるよう今後一層の努力をして参りますので、引き続きのご支援・ご声援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。